

科目名	新	社会学	担当者	服部 慶巨	部別		期間	通年	単位数	4
	旧	社会学								

【授業概要】

〔授業目的〕 人間は、一人で生きてゆくことの出来ない弱い存在である。故に、共同生活を営む者（仲間）が必要不可欠となる。また、社会生活は（必ずしも）自分の思い通りにゆくものではない。このような現実を、理論的・実践的に理解していきたい。
〔履修条件〕 特になし
〔授業方法〕 受講生自身も陥りがちな問題行動を例示し、講義する。教科書・参考書・プリント・板書を理解の助けとする。
〔評価方法〕 試験（中間、学年末）と平常点（出席状況、受講態度など）により、総合的な評価をする。試験は、いずれも論述式となる。

【授業区分】

区分	授業内容	区分	授業内容
1	ガイダンス（講義の方針、展開方法、目標など）	16	問題行動の根源 行為と行動
2	状況（情況）判断	17	問題行動の根源 共感性の欠如
3	社会（学）とは何か？	18	問題行動の根源 アノミーと犯罪
4	「社会的動物」としての人間	19	問題行動の根源 人間関係とストレス
5	Human Being（人間とは何か？）	20	問題行動の根源 非日常性
6	「らしさ」の培養 文化（culture）	21	問題行動の根源 価値判断
7	「らしさ」の培養 パーソナリティ（personality）	22	問題行動の根源 防衛機制
8	「らしさ」の培養 ジェンダー（gender）	23	社会意識と逸脱 常識（common sense）
9	「らしさ」の培養 家族の機能	24	社会意識と逸脱 規範的行為と逸脱
10	「らしさ」の培養 地域社会	25	社会意識と逸脱 社会的事実
11	「らしさ」の培養 現代的な問題点	26	コミュニケーションと人間関係 総論
12	人間関係の諸相と構造 総論	27	コミュニケーションと人間関係 構造
13	人間関係の諸相と構造 地位（status）	28	コミュニケーションと人間関係 原理
14	人間関係の諸相と構造 役割（role）	29	コミュニケーションと人間関係 問題点
15	中間試験	30	まとめ

【教科書】 『家族からみる現代社会』夏刈康男ほか著：八千代出版

【参考書】 『ストレス・スパイラル 悩める時代の社会学』服部慶巨著：人間の科学社（必携）